

授業科目	発達心理学特講 Developmental Psychology			担当教員	柳 智盛		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>本特講（発達心理学）では、乳幼児から高齢者までの発達を取り扱う生涯発達心理学について講義する。健常者の正常な発達の筋道を学ぶことは、知的障がい者やその他の障がい者の研究にとっても標準として役に立つからである。発達の变化の原理や発達のレジリエンス、発達に及ぼす影響要因などを研究テーマとして取り上げる。さらに今後これらに高齢者に関する研究を追加して、「福祉のための生涯心理学」としての自身の考え方を論理的に展開可能な能力を身につけることを目標とする。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	人間関係の方法に寄与できる。発達を客観的に把握できる。集団活動をコーディネートできる。			・授業態度及び参加度		20%	
思考・判断	人間の心を客観的に類別できる。人間の心の発達を科学的かつ数量的に指摘できる。			・課題発表での質疑応答		20%	
技能・表現	人間関係の中で冷静に相手を理解できる。相手に対してコミュニケーション能力を駆使できる。			・課題発表内容 ・課題発表での質疑応答		20% 10%	
知識・理解	人間の発達構造を説明できる。人間の心の働きと身体の働きを関係づけることができる。			・課題発表内容 ・課題発表での質疑応答		20% 10%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>講義時には、割り当てられた課題発表内容の評価を40%とし、その課題発表での質疑応答の受け答えに対する評価を40%とする。また、授業態度及び参加度において講義内容に対する関心・意欲・態度などを20%とし、課題発表等もあわせて総合的に評価する。</p>							
授業の概要							
<p>本講義では、乳幼児から高齢者までの生涯発達における心理学的理論を理解しながら、発達を阻害する諸要因についての理解と適切な援助のあり方について理解していく。特に各発達段階において代表的な発達理論をとりあげ人間の発達プロセスに関連する知識を学修した上で、発達にまつわる諸問題についても理解していく。さらに、さまざまな発達理論と心理学的アプローチ方法との関連性について探求する。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しません。 参考書：適宜参考書及び文献を紹介します。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>現代社会における生涯発達理論と関わるトピックや研究同行に関心を持ち、それに対する社会福祉の専門家として自身の考え方をしっかり持って欲しい。さらに、人間の発達を支える専門家としての立場から支援が必要とする方々の「こころ」を理解しようとする姿勢を持って臨んで欲しい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	講義の概要を説明し、講義のスケジュールを確認する。課題発表のスケジュールと用いるテーマ・文献を決定する。	復習：関心テーマ・文献を考える。
2	発達心理学の意義	発達の意義、発達の原理、発達のレディネス、発達段階について考える。	予習：「障害概念」について考える。 復習：上記のテーマの振り返り。
3	出産前後と乳児期の発達	胎生期の発達、出産、新生児期の特徴、胎生期の意味、胎教、乳児期のアタッチメント理論、乳児期の意味について学ぶ。	予習：障害の影響を理解しておくこと。 復習：上記のテーマの振り返り。
4	幼児期の発達①	幼児期の発達と基礎形成期の意味、幼児期の発達課題について学ぶ。	予習：障害の種類等を理解しておくこと。 復習：上記のテーマの振り返り。
5	幼児期の発達②	幼児期の発達障害、遊びの意義、しつけ・養育と発達について考える。	予習：障害の受容の難しさを理解しておくこと。 復習：上記のテーマの振り返り。
6	児童期の発達	仲間関係の発達、知的発達の特徴、児童期の発達障害について学ぶ。	予習：人が環境に適応することの諸問題を考えておくこと。 復習：上記のテーマの振り返り。
7	思春期の発達	反抗の意味、自我の発達、思春期の発達障害、不登校について学ぶ。	予習：様々な障害について理解しておくこと。 復習：上記のテーマの振り返り。
8	青年期の発達	アイデンティティの確立、ニートの心理について考える。	予習：発達障害の特性について事前に理解しておくこと。 復習：上記のテーマの振り返り。
9	成人期の発達	結婚、妊娠、出産、子育ての意味、社会への参画について考える。	予習：先天性障害のある人の受容について理解しておくこと。 復習：上記のテーマの振り返り。
10	中年期の発達	自己確立の意味、子育てから子離れへ、社会への責任と義務について学ぶ。	予習：家族の関わりの問題について調べておくこと。 復習：上記のテーマの振り返り。
11	老年期の発達	余生への出発、老化の意味、認知症など老年期の諸問題について考える。	予習：連携の意義について考えておくこと。 復習：上記のテーマの振り返り。
12	発達と社会への変化	少子高齢化社会が人の発達にどのように影響を及ぼすかについて考える。	予習：諸機関との連携のあり方についてまとめておくこと。 復習：上記のテーマの振り返り。
13	発達障害の課題	発達障害の特徴と支援の方法、課題について考える。	予習：課題発表資料を作成する。 復習：課題発表の際の討議内容について整理する。
14	子育て支援での発達と福祉との関連性	子育て支援の現状、支援の方法に関する課題と、発達心理学と福祉との関連性について考える。	予習：課題発表資料を作成する。 復習：課題発表の際の討議内容について整理する。
15	まとめ	発達心理学における生涯発達理論の概念と発達にまつわる諸問題について、本講義全体の総括を行う。	予習：講義全体について整理する。 復習：講義全体の振り返り。